

(1) 岩手大学との提携講義の実施について (1/2)

4

定例記者会見資料 令和7年8月1日 政策企画部政策企画課

市では、岩手大学との提携講義を新たに実施します。

1 事業目的

岩手大学では、地域の未来を牽引する多様な人材を輩出するため、大学での座学だけでは不足する実社会の現場の知識・経験をフィードバックするカリキュラム（＝イーハトーヴ協創コース）を設け、学生に実践的な学びと自律的なキャリア形成を促す取組を地域の企業や自治体の協力を得ながら進めており、かねてより同大学と連携協定を締結している本市としても、こうした大学の取組に賛同する形で提携講義を実施することとなったものです。

市としても、この提携講義を通じて、岩手大学の学生に対し、本市のシティプロモーションや市内の事業所等の認知度向上を図り、関係人口の創出や市内事業所等の人材確保のきっかけづくりとなることを期待します。

2 イーハトーヴ協創コースとは

宮沢賢治「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

本学の卒業生である宮沢賢治の想いを受け継ぎ、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指し、岩手で生きる、岩手と縁のある地域の多様な方々との協創活動を通じ、心の豊かさやイノベーションマインドを併せ持ち、高い専門性と実践力を兼ね備えたレジリエントな人材を育成することを目的に令和7年4月に開設されました。

教養教育科目としてアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成や地域のイノベーションに必要な創造性やチャレンジ精神を高めるための新たな科目を開設するとともに、企業・自治体等との連携講義を複数開講するほか、正課の学びと地域における実践活動（正課外）をパッケージ化することで変革を自らリードする能力を育成します。

イーハトーヴ協創コース カリキュラムマップ



※「岩手大学イーハトーヴ協創コースガイドブック」から抜粋

3 提携講義の概要

①対象者

岩手大学イーハトーヴ協創コースのうち、「社会連携学B」を選択した1～2年生 40名程度

②実施日時 令和7年8月19日（火）～22日（金）

③講義体系 長期休暇の集中講義（4日間）として実施する。

※講義内容やテーマは自治体主導で設定

※詳細は別紙のとおり

④費用 市が負担金（1,500千円）として岩手大学に支出

⑤その他 盛岡市も同様の取組を実施（R6～）

(1) 岩手大学との提携講義の実施について (2/2)

5

定例記者会見資料 令和7年8月1日 政策企画部政策企画課

4. 提携講義の内容 (予定)

テーマ **二刀流の力で世界に挑戦** ～地域の伝統と最新技術が融合するまち奥州～

1日目（8/19） ～奥州市のまちづくりの方向性～			於：岩手大学	
①	奥州市施策説明①	奥州市未来羅針盤図について（市政企画部未来羅針盤課）	80分	360分
②	市長講話	講話・学生との意見交換（奥州市長 倉成 淳）	100分	
③	奥州市職員トークセッション	奥州市職員として働く（奥州市役所若手職員）	80分	
④	特別講話・落語	落語家を目指した理由や歩んできたキャリア等（奥州大使 桂枝太郎氏）	100分	
2日目（8/20） ～奥州市のモノづくり～			於：岩手大学	
⑤	奥州市施策説明②	奥州市の産業と企業支援（市商工観光部企業支援室）	50分	380分
⑥	奥州市施策説明③	奥州市の農業について（市農林部農政課）	50分	
⑦ ～ ⑩	市内企業講話	市内立地企業①（東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)）	100分	
		市内立地企業②（(株)フジキン）	60分	
		南部鉄器製造事業者（(株)及富 菊地海人氏）	60分	
		モノづくりの女性経営者（(株)千田精密工業 代表取締役 千田ゆきえ）	60分	
3日目（8/21） ～奥州市を訪れる～			於：奥州市内	
⑪	市内企業訪問	工場見学、社員との懇談（東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)）	100分	340分
⑫	市内観光地見学・昼食	えさし藤原の郷	120分	
⑬	フィールドワーク	未来羅針盤プロジェクト関連で2コース設定 ①中心市街地活性化コース（メイプル・水沢公園など） ②南部鉄器のまち探究コース（南岩手交流プラザなど）	120分	
4日目（8/22） ～まとめ～			於：岩手大学	
⑭	ワークショップ	フィールドワークを踏まえた奥州市の特徴明確化と事業提案	200分	200分

1,280分 (21時間20分)